		H 1 7 年度		実績					今後の国	収組予定		
実施項目	現 状	~ 平成18年 3 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 1	1月 12月	1月	2月 3
安全を何よりも優先します 1)経営計画における安全	≧最優先の明確化と浸透										Я	:実績:予定
経営計画における「安 全最優先」の明確化	経営計画において「安全最優先」を最重要課題として 明確化 ・ 平成18年度の経営計画において「安全最優先の組織風土 の額成」を最重要課題として明確に位置づけた。 ・ 安全文化に係る「経営者勉強会」の第4回を4月24日に、 第5回を6月12日にそれぞれ開催した。	2/27 H 18年度 - 経営計画 - 策定	4/24 第4回 勉強会		6/12 第5回 勉強会		第6回 勉強会		第7回 勉強会	第8回 勉強会		:キーデート(実績) :キーデート(予定) 第9回 勉強会
経営層による現場第一 線への経営計画の浸透	双方向コミュニケーションによる経営および原子力事 業本部と第一線階域での優値観の技有化 ・117年度の膝詰め対話の結果を踏まえ、2月27日にH18年 度経営計画を策定し、また、4月24日には原子力事業本 部運営計画を策定した。 また、14月24日には原子力事業本 は、14月24日には原子力事業本 ・また、14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には ・14月24日によります。 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日によります。 ・14月24日によります。 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日には原子力事業本 ・14月24日によります。 ・14月	経営計画 策定 対話の実施 (経営計画の浸透) 連営計		本部	ンの充実・当社社員、1	爺社のコミュニケーショ 毎力会社社員への保守管		•	次年度計画 策定方針、 本 本 次年度原子力運営計画 ガイドラ ンの検討		次年度 経達計画の 次年度 原子力運営計	経営計画策定
原子力事業本部運営計 画策定についての対話	H18年度は、第4回トラブル対策委員会の検討結果を受け た対話を6月19日から26日まで計3回実施した。 対話実績は、計65回(うち社長は美浜3回、高浜2回、メ ・飯2回)となった。	反映内:	李集 約	話意見の対応検討、対	埋方針(女5 6/20 6/196 応状況フォロー、ポータ 摩WGのスケジュールは		(明	対話の実施 場実態の把握) ▼	/		▼ 対話の実施 (運営計画への現場意見	<u> </u>
	「安全の響い」の石碑の建立											
「安全の誓い」の石碑 建立	17年度にて完了 17年度にて完了 17年度にて完了 8月9日を「安全の響い」の日と設定 平成17年度の実施結果を踏まえ、平成18年度につい	_										
	ては、以下の取り組みを行なう。 <全社での取り組み> ・事故内容、「安全の誓い」の日の設定趣旨につい て、全社員にメールで発信。 ・社長メッセージ、再発防止対策に関する関電新聞を 配布。	アンケート結果の分	折・評価		'安全の誓い。	日の実施内容検討	「安全の誓い」の日 8/9		実施内容の評価		_	
8月9日「安全の誓 い」の日設定	・社内テレビにより、社長メッセージを放送。 ・事故発生時刻に、全社大で黙祷を行う。 コンダクトカードに記入した安全行動宣言を当日再 確認する。 ・原子力発電所での取り組み> ・美浜発電所においては、事故発生時刻に役員による 「安全破饉い」の石碑前での黙祷、協力会社訪問 (安全確保に向けた協力要請)、所員への訓示を行う。 ・大飯・高浜発電所においては、事故発生時刻に黙祷 後、訓示を行う。										次年 8	(東施内容検討評価 (本)
2) 労働安全活動の充実												
-	運転中プラントへの立ち入り制限 定額検査前準備作業の取り止め 当面は、立ち入り制限および定検前準備作業取り止める 継続し、労働安全衛生マネジメントシステムの美浜発電 所への本格導入から1年経過する118年度末を目途に 立入制限・定検前準備作業取り止めの今後の方針を策定 する。(現在は にて検討中) 定額検査前準備作業の変態検査											方針策
	H 1 7 年度から継続実施している労働安全上考慮すべき 設備機器の配置調査並びに労働安全設備マップの作成に ついて、11プラント全て完了した。	- 大飯4	美海2									
運転中プラント立入制限と定検前準備作業の一切の検討	定期検査前準備作業のあり方検射 ・ハード面の対策としては、準備作業量の低減対策(仮設足場の恒設化等)について3サイト共通するものは事業本部にて、発電所毎に固有のものについては各所にて材討を進めることとし、各発電所に指示済み。	€ VIII = 04444		高浜2	ソフト面の対策の実	筋(什組みの機筋・労働)	安全設備マップの整備等)					
	(H18.5)・ソフト面の対策としては、労働安全衛生マネジメントシステムにおけるブラント立上時(真空上昇-定熟連取)の機器情報図について美浜発電所にて運用開始している(H18.5・)が、この機器情報図はブラント運転中(定熟運転-解列)へも適用可能であり、労働安全衛生マネジメントシステムの定着状況を踏まえ、定検前準備作業への適用を検討していく。	対策の検討		ハード面	面の対策の実施(定検前準			次実施)				

1

実 施 項 目	現	状	H 1 7 年度	4 FI	実績 5月	6月	7 ⊟	QΠ	оя	108	今後の取組予定	12日	1月	2月	3月
	美浜発電所における試運用		~ 平成18年3月 本格導入のための	4月		ち月	7月	8月	9月	10月	1 1月	12月	1.8	2月	3月
		17年度にて完了	社内標準などツール改 美浜本格導入	善	ル事例:	*を反映	^トフノル事例・フ	大飯2号機 下部炉心構造 真浜3号機 格納容器内水	初市リエけに伴り協力会 漏れ -	社放射線管理員の計画外	1次は〜				
労働安全衛生マネジメ	美浜発電所における本格等人 美浜2号機第23回定検での 評価中。評価結果から必要な 電所での本格運用を継続する)本格導入結果について現在 に改善を行った上で、美浜発	内部監査レ	ビュー会議 美浜2号機第23回定	検		本格導入結果評価·改					美浜1号機第22回定	:		
ントシステムの美浜発 電所への導入、水平展					_	1		4							
開	高浜、大飯発電所への展開 美浜2号機第23回定検での)木柊道λ 結里について証価	高浜4号機試運用結果	評価・改善♠	浜2号機第23回定検証	t運用		<u> </u>			高浜本格導入		<u> </u>		
	を行い必要な改善・水平展開 第17回定検(H18.8~)および]を行った上で、高浜3号機	大飯4号機試運用					*	高浜3号機第17	7 回定検		高浜1号機	第24回定検		
	(H18.9~)から本格導入する		★ 試運用結果	F価·改善	大師	Q2号機第20回定検試運	<u> </u>			+45 1 P HM 95 1 2 5		大飯本格導入		上午 (日接等) (同字件	
	救急法救急員等の養成	7m1 = ===1/2/1 = = = + \frac{1}{2} = = = 1	H17実績確認						¥	大飯3号機第12	448			. 太飯1号機第21回定検	
	救急法救急員の有資格者を管 者不足分を養成する。有資格者スキル維持のため、		次年度養成計画第	≠ ÷											
	施するよう準備中。	等川家による開自教目を美			格者更新 · スキル	維持のための補習教育									
	休日・夜間の連絡体制の整備		計画決裁												
救急法救急員等の養成	NA KINOZENOWE	17年度にて完了													
-	発電所員を対象とした救急対	応の教育	H17実績確認			新入社員に対する教育	定	期異動者に対する教育				定期異動者に	対する教育	定期異動者に対する教育	
[異動者に対する教育を実施す 新入社員に対する教育を各発	電所毎に実施した。		勃容 范田郊 居甘港~											
[本年度に実施する防災訓練、 教育効果を確認し、教育内容		,	教育効果評価基準策		に基き、各所防災訓練・非	常災害訓練等において	教育効果の確認を実施							
安全のために積極的に資源 1)発電所保守管理体制の	増強等														
	組織改正後のフォロー 組織改正(H17.7)の評価を行		評価および	组織改正検討										フォロー	
発電所支援の強化と保 守管理要員の増強およ	支援策が必要と認められたこ 「是正措置プログラム」の運														
び実施後の評価	着実に運用し、発電所の不適 業本部との情報共有を継続実	i合、是正措置等について事		標準化											
				134-10				継続して活動							
	電気・機械技術アドバイザー H17年度に社内標準として策2	定した職務の仕組み(技術	電気・機械技術	アドバイザー 評価・さ 教育か	改善 キュラムの検討、策定										
	基準に関する適合性審査、周 等))に基づき、H18年度以降 H18年度上期を目途に職務の3	降も業務を実施する。				・策定した仕組みに	■ 基づく業務の実施・力量	維持							
	身の教育カリキュラムについ					・適宜、評価・改善									
技術アドバイザーの各 発電所への配置	安全技術アドバイザーの配置														
	4月1日から安全技術アドバイ し、運用を継続中。	ゲーを1名増員(計2名)	安全技術アドアドバイザー運用	バイザー											
		i	方法の見直し	アドバイザーの運用					アドバイザーの	海田共決部価				アドバイザーの道	8田 建没额值
			契約更改 アドバイザー増						717(19-0)	- APPLICATION LIM				717(19 -0)	C. 17-DVD/DET IM
	情報管理専任者の配置 各種技術情報の水平展開の確	宇宙かフォローを継続すると	3/16		5.	/80	7/14								
	ともに、「各種技術情報」と 扱う水平展開対象の情報の再	:して情報管理専任者が取り 事整理(協力会社からの情報	至近の課題	解決の方向性を確認											
	の扱い、不適合の扱いについ の高度化を行なう。	1てを整理)、情報伝達方法													
情報管理専任者の各発	現在上位機関での水平展開対 フォローする業務が中心だが の教訓的な情報の有効活用方	、WANO SOER,SER,JITなど		·水平展開 (2図る情報の再整理 取組み紹介				÷.	生内標準見直し					社内標準
電所への配置	の教訓的な情報の有効活用力 り組みを情報交換しつつ改善 月次連絡会(月1回程度)を	を図る。		56-271074	roma - / Bbl / I						水平展開を図る情報の 発電所の取組み紹介	事整理			
	し、水平展開が確実に実施さ た。	れていることをフォローし													
	活動成果を社内標準へ反映す	⁻る。													

実施項目	現状	H 1 7 年度		実績				•		今後の取組予定				
X 1/6 7X II		~ 平成18年 3 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	1 1月	12月	1月	2月	3月
2)積極的な資金の投入														
	設備信頼性の維持向上の観点等からの投資の充実		+	a block a market to be	Note Andrews adm									
	設備安全、労働安全等の観点から対応策や有効な改善提案を抽出するべく、事故後、直ちにメーカ、協力会社と		メーカ、協力会社と	の対話(事故後から実	(池継続甲)	_								
	の対話等を実施し継続中。 ・ 専門家(エキスパート)を活用した保全指針へ見直すべく、				5/30指針の充実に係る取		専門家(エキスパ	ト)を活用した保全指針貝	直しの検討および実施					
	指針の充実に係る取組方針を策定(5/30決裁)し対応			保全指針改善を確実に	実施していくためのシステ	ム改善								
	中。 ・ 保全指針改善等を確実に実施していくためのシステムを	協力会社情報のフィードノ	「ックに対するシステム改善、	運用開始準備										
	改善中。(H18.12完了予定) ・ メーカ・協力会社からの提案等に対する検討結果を提案		システム運用開始に係る	説明会		当社情報の共有化	た対するシステム改善/	の検討						
設備信頼性、労働安全 の観点からの投資の充	元にフィードパックするためのシステム(情報共有DB)について、改善を実施中。(H19.4運用開始予定)		労働安全対	策キャンペーン採用提系	の実施・水平展開	_								
実	労働安全対策キャンペーン(H17.5~6)採用提案の実施・水	取替配	管部材の貯蔵品準備中	(6月末目途)		(7	月末調達完了予定)							
	平展開実施中。 ・ 予備品・貯蔵品の充実に向け対応実施中。	予備品運用の見	直し検討(対象の抽出)						予備品調達					
_) HOLLINGAE					
	鍵鏡的な計画の更新、フォロー投資の充実が継続的に実行されていることを投資効果を	3/16 投資効果	を計る指標方針決裁		投資の充実が継続的に行	なわれていることを確言	2							
	計る指標ならびに具体的取組事項や確認方法によりフォロ- 中.					_								
	・ 今後懇談会等での意見を踏まえつつ、継続的改善を実施	i ———				_	改善点の	検討および検討結果の反	映					
 	する。 継続的な計画の更新、見直し													
1	 「長期工事計画作成マニュアル」(H17.12策定)に基づき、長期工事計画の見直しを継続する。 	·		長期工事計画検討				検討会開催予定						
長期工事計画の見直	・ 平成18年の検討対象機器については、第5回長期工事計	3/13 第5回長期工事計	事案策定	(作業会は適宜開催	3			長期工事計画策定						
し、継続的な計画の更 新、フォロー	画検討会(H18.3.13)における決定事項を踏まえ、事業 本部,発電所のニーズ調査を行い決定した。			5/ 第6回	24 3機械設備作業会			(予算編成に反映)						
	・ 第6回機械設備作業会を5月24日に実施。							 ±				=	長期工事計画検討	
													及朔工争前國代前	
	現場第一線が安全最優先に業務を展開できる仕組みの 機能	1/5事業本部H18予 算編成結果方針決裁			6/26	H19年度予算編成指示	:							
	17年度にて完了	H18年度予算通達												
-	継続的な計画の更新、フォロー	3/7			6/16 予算	要求段階の評価結果実 - ト結果の評価中	施							
積極的な投資に係る予	・ 予算制度改善に関するアンケートを6月に実施し、現	改善後の予算制度	の評価・見直し検討	5 (00)		- ト結果の評価中								
算制度の改善等の仕組 みの構築	在、評価中。必要に応じて制度への反映を実施する。 ・ H18年度予算編成データを基に評価を行うと共に、同編	2/6第5回 改善WG			第6回改善WG 5/29 制度改善アンケート実	施方針決裁								
	成過程で生じた課題等を踏まえ、「工事評価基準」を6 月16日に見直した。	3/6,7発電所との	意見		製準類見直し 6/40 0/20			H 1 9 年度予管結成	集約(継続的にフォロー					
	 予算制度(予算要求から執行管理)に関する業務運用について、「予算要求・執行管理に関する業務運用ガイド 			1	6/16 6 <u>/20</u> 工事評価基準 予算要求 の見直し 業務運用:	執行管理に関する		1113-1152 1 94-10010	SHAD (MEMORITIES 4) II					
	ライン」を定め、6月20日に「保修業務ガイド」に追加				O)CEO MINEIN	117171000								
3)安全の確保を基本とし	制定した。													
	定期検査工程短續を目標にするものではないことおよ													
	び安全最優先の考え方の徹底						計画説印 安全優先	時に		状況説明	月時に	状況説	明時にを再宣言	
	事業本部、発電所からの計画説明時に都度説明、徹底す る。						安全慢先	を冉宣言		安全優先	を再宣言	安全優先	を再宣言	
	安全最優先の考え方による定期検査工程の柔軟化 発電計画の策定および運用に関する業務を遂行するため	3/17		課題を 標準化 5/	/23 継続活動	7/7								
	の理念、具体方策に基づき活動を継続中。 1 年間の活動を踏まえ当面現在の仕組みを継続。	課題標準	ur.o											
「安全最優先」の考え 方にもとづく工程策		方向性を			大飯4号		高浜2号	大飯25	!		美浜1号	大飯3号		高浜
定、変更の仕組みの整備	定検工程策定、変更時のためのプロセスの明確化と標 準化						美浜2号				高浜	3号		
ines	更なる課題(リスク回避の考え方、年末年始の休み、解 並列時刻の考慮など)について、5月23日に標準化し	•							標準改訂後の					標準改訂後
	た。 標準化されなかった課題については、再整理し対応の方								活動を踏まえ					活動を踏ま; 見直し
_	向性を検討中。	<u></u>												
	柔軟な工程管理の実施 で実施。													
1)教育の充実														
, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	保修業務研修(配管内厚管理コース)				研修実施									
	6月28日 ~ 30日にH18年度第1回研修を実施済み。12月に 第2回目の研修を実施予定。				研修実施 6/28~30				教育実施(年1回以上)		予定			教育実施結果 レビュー、改
	N-HHVWIPEXIII I NO	ビュー、改善策の検 討・反映												の検討・反映
2次系配管肉厚管理の 重要性に関する教育	危機撤譲を高めるための教育													
主文 江に広げる状日	H18年度のトラブル多発を踏まえ、基本動作徹底を目的 とした事例研修(eラーニング)を6月5日より実施中。	教育実施結果のレ		e 5	ラーニング実施(テーマ:基	本動作徹底を目的とし	を事例研修)	.=.	ニング実施(年1回以上		leラーニングの実施を核	kād		教育実施結果
	(7月末までの予定。)	ビュー、改善策の検 討・反映						19-	一ノノ大加(牛・田以上	少安に応じて追加	にノーニノソの美胞を称	K B J		レビュー、CX製 の検討・反映
1		1												

1	2000 - Em 2 3 122 3		1			0 1 .73			~ · · · · · · · ·	△ ※ ○ Ⅲ 4 ⋜ 宮				
実 施 項 目	現 状	H 1 7 年度 ~ 平成18年 3 月	4月	実績 5月	6月	7月	8月	9月	10月	今後の取組予定 11月	1 2 月	1月	2月	3月
	マネジメント研修		.,,	373	6/2		073	373		, ,	. 273	.,,	273	
	6月2日にH18年度第1回研修(テーマ:企業倫理)を実施済み。	教育実施結果のレ ビュー、改善策の検 討・反映			平成18年度第1回研修	E施					教育実施(下期	回)		教育実施結果の レビュー、改善策 の検討・反映
。管理層へのマネジメン -		討·反映												ONE STATE OF
ト等の教育	第一線職場課長研修 H18年度第1回研修を8月に実施予定。									教育	実施			
			教育実施結果のし	ビュー、改善策の検討	· 庆映		予定			()	異動結果も踏まえ、実施	回数、実施時期を決定す	78.)	
	保修業務研修(技術基準コース) H18年度第1回研修を6月27日、28日に実施済み。次回に	教育実施結果のレ			研修実施		予定		教育実施(年5回)					教育実施結果のレ ビュー、改善策の検
	7月末に実施予定。	ビュー、改善策の検 討・反映			6/27,28									討·反映
	法令に関する研修			教育	宇施(上期1回)	研修実施 7/19					教育実施(下期	10)		教育実施結果のレ
	7月19日に美浜発電所対象の研修と既に実施済みの高 浜・大飯の未受講者対象の研修を実施済み。(テーマに	教育実施結果のレ ビュー、改善策の検							=		3273200(1793			ビュー、改善策の検 討・反映
:- A DEFUSE (II.A	技術基準)	討·反映												教育実施結果のレ
7 法令、品質保証、保全 指針などの教育の充実	法令・保全指針類の改正時の伝達教育	教育実施結果のレ									教育実施(伝達教育か	(必要な回数実施する)		ビュー、改善策の検
	保修課員全員を対象に、保修関連の法令・保全指針類の 改正内容・主旨についての教育を実施する。	ビュー、改善策の検 討・反映												
	品質保証の原則の浸透教育	教材準備	職場内教育実施							専	 門研修体系の一部として	継続実施(年1回)		教育実施結果のレ
	原子力事業本部、発電所員全員を対象に、品質保証の原	₹ 27.70 → ml	T- ≪137AP2 X88				専門研修体系への	達り込み		1				ビュー、改善策の検 討・反映
	則の浸透教育を職場内教育として実施済み(4月末完了)。また、この内容は原子力部門の専門研修に盛り込	<u>\</u>												
	み、継続実施する。													
安全のために保守管理を継続 構築します。	語的に改善し、メーカ、協力会社との協業体制を													
(1)2次系配管肉厚管理シ														
	点検リストの整備 a. 主要点検部位の点検リスト整備													
	17年度にて完了													
t	o. NISA文書に基づく主要点検部位リストの追加整備													
	17年度にて完了													
	 NISA文書(H17.2.18)に基づき「中期的な検査計画」の策定をH17.8.17に完了し、原子力事業本部による再確認も実施します。 													
点検リストの整備等の	施した。(H17.11.28) ・ 未点検部位で未点検箇所は、H20年度の定検までに現場		現場とスケルト	ン図との照合										
実施	とスケルトン図の照合を行い、必要に応じてリストを動													
	備予定。 ・ 美浜 3 号機についてはその他部位を含めて点検リストを	F												
	整備済み。(H17.8)													
	点検リストの定期的レビュー 定期的レビューの実施計画検討~策定、実施。													
			定期レビューの	実施計画検討~策定	~実施									-
	設備変更に伴う管理票等への反映の仕組み構築	-												
	17年度にて完了													
8	内厚管理体制の強化													
	17年度にて完了													
	点検測れ等の不具合情報の共有化													
	17年度にて完了													
	当社が測定作業を除き計画~評価まで主体的に実施		肉厚管理直営作	*										
当社による主体的管理 の実施	大飯1号機第20回定期検査(H17.9)より測定を除いて計画から評価まで当社による配管肉厚管理の直営化を	-	美浜2号#23回定検	1							美浜1号#22回定検			
	開始しており、以降順次実施中。			高浜2号#2	3回定検			高浜3年	号#17回定検			24回定検	_	
					大飯2号#20回	E 検		_	大飯3号#	12回定検		*	飯1号#21回定検	
-	コンピュータシステムの改良		_											
	17年度にて完了													
	学会での規格策定およびPWR管理指針への反映 配管減肉規格策定に向けて、機械学会配管減肉規格関係	Fi.												
減肉管理規格策定作業 への積極的な参画、当	委員会への積極的な参画及び技術規格策定後の必要に いた社内標準への反映。		格案作成(規格委員会)	ž	支術規格案審議、パブリックコ (スケジュールは学会	メント、発行手続き、国に 国の活動状況により変ん	よる技術評価等 とする。)							1_
社の管理指針への反映	現在、規格委員会の審議 (H18.6.14) が終了し、現在公							– – –	+ -	+	国による 社内標準	技術評価結果に基づき の適切性を確認する。	・配管減肉管理に関	9 6
	衆審査中。	書面投票(専門	"]安貝会)	書面投票(規格委	支 員会)									

美浜発電所3号機事故 再発防止対策の実施状況(平成18年4月~6月実績と今後の予定) (5/7)

平成18年7月24日現在

1		H 1 7 年度		実績						今後の取組予定				
実施項目	現 状	~ 平成18年 3 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	保守管理を継続的に改善													
保守管理方針の明確 化、基本的な考え方の 徹底	保守管理方針を安全最優先の個点から明確化 基本的な考え方を社内標準に明記し徹底 HT7年5月に保守管理を継続的に改善すること、設備を所 有する当社が一義的に責任を有することなどとする保守 管理方針及び基本的な考え方を社内標準で規定した。今 後も必要に応じて改正要否を検討する。	3/9 浸透状况 実施方針決裁 浸透状況の確認、評			必要に応じて社内標準の	文正要否を検討・反映 								
- 役割分担、調達管理の	代表工事の基本計画を策定 17年度にて完了 基本計画の展開と分析評価 全工事を類型化した基本計画の策定に向け、代表工事を基にした役割分担・調達管理の基本計画に従い、工事内容の分析評価を実施し、4月17日に社内標準に反映した。	、 役割分担・調達管理の 従い工事内容分析評(基	基本計画に 本計画の見直し 3/31 社内標準へ反 4/17	映										
基本計画を策定、実施、社内標準へ反映	具体的な機関実施およびフォロー 役割分担・調達管理の基本計画に基づく仕様書の作成に ついては、全工事に展開するため10月まで準備期間を設 定し、各工事の仕様書を作成する予定。 必要に応じ基本計画を改善し、社内標準へ反映する。		:	役割分担・調達管理の基	基本計画に基づいた要求化	様を全工事の仕様書に	展開準備および実施 (10月	3~)、継続的な改善・フォ	ロー(必要に応じ、保守	管理改善推進WGメンバーの	懲見を聴取)			
3) 監査の充実														
	業務のプロセス監査の継続実施および改善・個別業務について、実施手順の要求事項やプロセスが明 店され、業務が効果的に実施されているかの視点から、定期検査工事を対象に業務のプロセスに着目した監査を実施中。本年度は19件が対象で6月に1件実施済。	プロセス監査	ネジメントレビュー 実施内容検討		プロ	2ス監査の実施								マネジメントレ
業務のプロセス監査の 継続実施および改善	三菱重工業(株)への特別な監査について、H18年度第1・回を5月18日に実施済。引き続き適宜実施。	平成17年度		5/18 平成1:	8年度第1回	三菱重工業への	特別な監査の継続実施(適宜実施)						
		三菱重工業(株)に 対する特別な監査を 4回に亘って実施。												
経営監査室の若狭地域	著 決地域駐在員によるプロセス監査等の実施 ・業務のプロセス監査、モニタリング活動を、より現場に 密着した活動として継続実施中。 ・ 是正措置プログラムに対するモニタリングを継続実施	(No,21参	ネジメントレビュー照			是正措置ブログ	ラムに対するモニタリン	<i>1</i> 7						マネジメントレリ
への駐在	Ф.													
	 外部監査の実施 ・ H 1 7 年度外部監査実施を踏まえ、H 1 8 年度において も再発防止対策の活動状況に対し、第三者審査機関の監 査を実施する予定であり、現在、実施内容を検討中。 	₹	ネジメントレビュー 実施内を	の検討・準備								94	部監査の実施	マネジメントレ
外部監査の実施														

		H 1 7 年度		実績						今後の取組予定				
実施項目	現 状	~ 平成18年 3 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(4)メーカ、協力会社との	協業													
	メーカおよび協力会社の各社ごととの対話活動の 健康 - 基本方針(H16.9.24決裁)に基づき、H16年10月から各 発電所において協力会社の方々との対話活動を継続実施	発電所から 事業本部への報告 (約3ヵ月毎)			報告 発電所から事業本部へ	報告) 報告	; 電所から事業本部への報	*)	報告 (発電	重所から事業本部への報	告)	‡	B告 発電所から事業本部への	D報告)
	中。 ・ 対話活動で出てきた意見・要望の処理を継続実施中。				(協力会社が実施する朝祖 ける重要事項の周知、及う 間でのコミュニケーションを	、TBM・KYにお が協力会社作業員 実の指導)	1							
	当社とメーカの協議体制の構築 ・技術情報連絡会の運営について検討した結果、協力会社 情報共有データペースも活用し運営していくよう改善し た。 ・ H18年度第1回技術情報連絡会をメーカ2社と実施するた め、現在、準備中である。	2/17, 2/24	を電機) 整電機) 絡会の運営について改	事すべき点の有無の検	対 6/9運用改善の	養計	H18年度第 (三菱重	1回技術情報連絡会 工業、三菱電機)				н	8年度第2回技術情報連 (三菱重工業、三菱電	絡会 機)
	また、ブラントメーカ(三菱重工)と当社で、技術連携 の具体的対象機器選定、両社の適切な役割分担およびそ れらを受けた最適な発注形態について検討を進めてい る。	3/15 サブWG(長期的 割分担、契約の3 方の合同サブWG	4/6 役 サブWG(契約 5りのあり方)	(必要に応じ	てWG、サブWGを適宜開催									
メーカ、協力会社との 協業体制の構築とPW R電力間の協力体制の 構築	当社と協力会社の協業体制の構築 技術情報連絡会の運営について検討した結果、協力会社 情報共有データペースも活用し運営していくよう改善し た。 H10年度第1回技術情報連絡会を協力会社32社と実施す るよう準備中である。	第2回技術情報連絡会	(31社各社別)	技術情報連絡会の運営	6/9運用改善検 について改善すべき点の?	対 無の検討	H18年度 (32社各	第1回技術情報連絡会 社別)					8年度第2回技術情報連 32社各社別)	絡会 =
(桐 宋	メーカ、鶴力会社との人材交流(あり方検討) 策定した詳細ブログラムの実施方針に基づき、人材交流 を実施するため、協力会社への具体的要員派遣に係る詳 細を検討中。	実施方針策定 人材交流の詳細 プログラム策定		人材交流	売の実施準備・実施	_								
•	PWR事業者連絡会の開催 PWR事業者連絡会の運営について検討した結果、前年 同様に運営することになった。 H18年度第1回 PWR事業者連絡会を6月23日に開催し、 各種情報等について対応策の検討を行い、情報を共有した。	3/7	定例) の意見を踏まえ今後の道	重営検討	H18年度第1回JPOG連 6/23 6/9運用改善	(必要	JP(に応じて適宜開催)	G連絡会(定例)		(必要に	おじて適宜開催)		JPC	0 6連絡会(定例)
-	着実な活動の実施とフォロー 各活動(~)をメーカ・協力会社等とのコミュニ ケーションの中で継続的に改善する。		メーカ、協力会社との	コミュニケーションの中で	で協業活動についての継続	的改善を実施								
地元の皆さまからの信頼の (1)原子力事業本部の福井	D回復に努めます。 移転													
25 原子力事業本部の福井 移転	原子力事業本部の福井参転 - 経営層と地元との対話、各戸訪問などを継続的に行うことにより、地域に根ざした原子力運営を行う。 - 組織改正後のフォロー組織改正(H17.7)の評価を行った結果、更なる発電所支援策が必要と認められたことから組織改正を検討中。	【 No,27参)										7*0-	_
原子力事業本部運営に 係る社内諸制度の見直	原子力事職本部の福井参転 17年度にて完了 原子力事職本部運営の社内領制度の見直し ・第6回WGを7月末に開催予定。膝詰め対話での意見集 約・対応を継続実施中。		第5回				第6回	第7回			第8回			第9回
	m」 ハッドル 仁 M立いた大川は、1・0	3/2 W G での検討 (膝詰め	29 対話の意見集約・対応	5)		_								

		H 1 7 年度		実績						今後の取組予定				
実施項目	現 状	~ 平成18年 3 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(2)コミュニケーションの														
27 地元とのコミュニケー ションの充実	地元との対話活動の実施 ・地元のキーパーソンへの説明、各種説明会、各戸訪問等による対話【平成16年度より継続】 「行動計画」公表以降、199回、延べ3,820名の地元の方々に対して、行動計画の趣旨や実施状況等をご説明して意見を拝聴している。 ・当社と立地町の皆さまとの対話の場の設定【平成17年度上期より継続】 (社長出席:1回/年程度、原子力事業本部および発電所幹部出席:3回/年程度) 美浜町原子力総会(社長と地元の代表の方々との対話)の日程等について調整中社長と高浜町、大飯部を定と地元の代表の方々との対話)の日程等について調整中社長と高浜町、大阪市をと向対話については、昨年度と同様年始に実施予定 ・「コミュニケーションガイドライン(H16.9.24制定)」を適宜改定。 ・H17.9.12改定:頂いた意見の活用方法の仕組みをしまするための見直し・H18.6.7改定:ご意見への対応要否の判断者を明確にするための見直し・H18.6.7改定:ご意見の整理、対応、フォローまでを明確にするための見直し			報明会 D設明会 各種団体長への説明会 す女性の会への説明会 東浜町区長会での説明会	/ガイドライン」の見直し検記	サー基づく対話活動の展開		美浜町原子力懇	談会		美浜町各戸訪問	· · · 大飯町原子力懇談会		
(3)地域との共生														
福井県エネルギー研究 関発拠点化計画への協力	福井栗エネルギー研究開発拠点化計画の具体化への協力 力は「エネルギー研究開発拠点化推進会議」に参画 し、本計画の具体化に向けた「拠点化推進方針」策定に 協力するとともに、当社が対応する事項の具体化を進め ており、対応可能なものから実施中。 本計画の着実かつ円滑な推進に協力するため、「拠点化 推進組織」へスタッフを派遣中。 当社拠点化プロジェクトチームを4月3日に設置。		当社拠点化プロジェ 4/3 拠点化計画の具体化あ	クトチーム設置 なび着実かつ円滑な推	進への協力					拠点化推進会議				
安全への取組みを客観的に (1)再発防止対策を確認し	に評価し、広くお知らせします。 し、評価するしくみの構築													
原子力保全改革委員会	「原子力保全改革委員会」の設置 17年度にて完了 「原子力保全改革委員会」による活動 - これまで54回開催し、再発防止対策の実施状況、実施計画等について審議した。 第4回検証委員会(4/18)においてH7年度の実施結果、H18年度の実施計画の予定を報告。 今後とも実施計画の取り組み状況のフォロー等、活動を継続する。	3/3 3/17 3/24 3/30		5/12 5/18 5/26 員会への報告	6 6/16 6/30		委員会への報告	(1/週~1/月の 必要の都度開催	権度で) 検証委員会	への報告		模証委員会	交への報告	
原子力保全改革検証委員会	「原子力保全改革検証委員会」の設置 17年度にて完了 「原子力保全改革検証委員会。による活動 ・第4回検証委員会を4月18日に開催。 ・第5回検証委員会を7月24日に開催。		再発防止対策の実施状 4/18 第 4 回	況の検証		再発防止対策の実 7/24 第 5 回	毛状況の検証		再発防止対策の実/ 第 6 回	も 状況の検証		再発防止対策の 第7回	実施状況の検証	
再発防止対策の実施状 況の周知・広報	地元の皆さま等へのお知らせ - 再発防止対策の実施状況を適宜公表。 - 検証委員会の開催ごとに、審議結果、実施計画の進捗状況を公表。 - 公表方法> プレス発表、県内各種団体等への説明会、福井県下のCATV・当社定期刊行物、TVCM、新聞広告、ホームページ等。	県内各種団体等への記 3/12新聞瓜 (福井県) 3/19新聞広告 (福井県) 3/20	(福井県)	某を公表 な表 広告	美浜町各戸訪問 (6/12-6/28) 6/11新聞広告 (福井県) 切 마ド 版 6/18定 (福井	7.2.2 第5回検証委員会の審議 再発防止対策の実施补び 電気 期刊行物 票) CATV放映 (7/1 ~ 7/23)	5公表 所聞97° ロイド版	定额刊行物 (福井県) CAT V 放映	新聞広告 (福井県) 定 (:	耕刊行物 昌井県) CATV放映	美浜町各戸訪問 新聞広告 (福井県) 定 (朝刊行物 福井県) CAT V 放映	(;	阴刊行物 昌井県) CATV放映